

「チューブ」で配信する。の専門誌にも体験リポせる。

イトは、アウトドア用モンベル」が運営する「エコトラック」(国エリア)に登録。認知に高まり、自転車観光人も増えている。

度に実施したアンケート二百九十一人)によ体の24%が県外からの新幹線や特急沿線を中心府県から訪れた。三代が約八割を占め、金

い「白山手取川ルートの里浜ルート」の利った。複数ルートの走体の四割だった。

の魅力で景色や自然環境に人は約半数。環境整備を知らず、口コミ者も多くいた。来訪には鉄道やバス事業者強化が課題とし、県側はめいてく考えを示し

断崖絶壁 海から巡る

能登金剛遊覧船 今季の運航開始



岩場を縫うように進む遊覧船「石川県志賀町で

石川県志賀町の景勝地、能登金剛を周遊する「能登金剛遊覧船」が、今季の運航を始めた。巖門洞窟の中に入った、海に沈む夕日を見上から眺めたりできる。十一月末まで。

黄色と緑色の船、最大四隻が、断崖絶壁に沿うように巡る町の名物。能登金剛には、故松本清張さんの小説で舞台になった「ヤセの断崖」、日本最古の木造灯

ター」と「旅の駅巖門」の二カ所。営業時間は午前八時から午後四時まで。料金は大人千五百円、子ども五百五十円。運航可否は当日朝に判断する。旅の駅

(榎原大騎)

金属検査機の開発紹介

金大研究室が見学会

石川県内企業の技術者らによる金沢大研究室の見学会が二十六日、同大人間社会研究域の佐々木敏彦教授(材料加工・組織制御工学)の研究室であった。

佐々木教授と同大先端科学・イノベーション推進機構の三井真吾博士研究員が、金属製品の品質検査に用いる新たなエックス線技術について説明した。

研究室では、金属のひび割れなどに関係する残留応



エックス線技術について説明する佐々木敏彦教授「金沢大で

力を感じる新しい機器の開発を進めている。測定にはエックス線を使う。機器そのものは一九七〇年ごろからあったが、六年前に小型で測定時間を十分の一にした機器が登場した。

力を感じる新しい機器の開発を進めている。測定にはエックス線を使う。機器そのものは一九七〇年ごろからあったが、六年前に小型で測定時間を十分の一にした機器が登場した。

市内の大学などでつくる市産学連携事業運営委員会が催した。

(山内晴信)

チュエリッパ切手
フェア記念で発売
日本郵便北陸支社

日本郵便北陸支社は、となみチュエリッパフェア2018(四月二十日～五月五日)の開催を記念するフ

六十二円切手十枚の税込み千二百円と、八十二円切手十枚の同千三百円のシートで、いずれも富山県産品種をはじめとする色とりどりのチュエリッパの写真があしらってある。二〇〇八年から同支社が毎年デザインを一新してフェアに向けて販売している。各千二百シート作った。



チュエリッパのフレーム切手に笑顔を見せる夏野修長(右)と日本郵便の西嶋優北支社長「富山県砺波市役所



二十三日に西嶋優北支社長が砺波市役所を訪れ、夏修市長に切手を手渡した。市長は切手を出向宣伝に用いているほか、フェア訪れる外国人客が増えることに触れ「お土産にばれていきます」と感謝した。

フレーム切手は富山西便局と一部の簡易郵便局を除く県内二百十局で扱っている。フェア会場でも販

(山森保)